

湯山っ子 家庭学習の手引き（中学生版）

令和7年度

松山市立湯山中学校

中学校では、「確かな学力を育てる」ことを重点目標の一つとし、松山市の授業モデルの活用やTT（チームティーチング）による指導を通した、「わかる授業」を展開し、子どもたち一人一人に学習内容が定着することを目指しています。さらに、家庭と連携することで、その効果が高まると考え、『家庭学習の手引き』を作成しています。内容をご確認いただき、家庭における自学自習の習慣化が図られ、生徒の学習活動が一層充実するよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

《家庭学習を習慣とするために》

☆ 規則正しい生活で学力アップ

- 早寝・早起き・朝ご飯、朝の排便の習慣化
- 家族であいさつを交わす
- 「テレビ」「ゲーム」「インターネット」「スマホ」等は家庭でルールを決める。
- 時間を決めて学習する。家庭学習を習慣づける。
学習時間の目安⇒学年+1時間（2~4時間）
- 忘れ物をしないように学習道具をそろえる。

☆ 学習の3つのポイント

- 学習計画を立てる。（家庭で勉強する時間割）
- できるだけ具体的に計画する。（○○を何ページなど）
- 学習環境を整える。

《学習環境》

部屋が散らかった状態、勉強する場所の周りにテレビや音楽、ゲーム、携帯電話などがあって、それが気になる環境では、集中できません。ご家庭でもご協力を願います。

《学習に対する考え方》

- ① 具体的な目標を持つ。
- ② 自分の弱さに負けない取組を身に付け、あきらめずに続ける。
- ③ 他の人と比較をしない。その時の自分の実力を率直に認める。
- ④ 自分を支えてくれている人に感謝の気持ちを持つ。
- ⑤ AIに負けない考える力と読解力、コミュニケーション力を身に付ける。

＜各教科の家庭学習＞

教科	予習	復習	教科	予習	復習		
国語	<ul style="list-style-type: none"> ① 教科書の文章を読み、あらましをつかむ。 ② ワークの漢字、言葉の意味のページをする。 ③ 漢字テスト等の勉強を行う。（1ページ以上） <p>※ 普段から新聞・本など、身近にあるもので、「読む」習慣を付けておくことが大切。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 間違えた漢字の復習を行う。 ② 授業ノートを見てその日に習った内容を復習する。 ③ 文法や表現技法などを復習する。 ④ ワークを解く。 	理科	<ul style="list-style-type: none"> ① いろいろなことに興味を持ち、疑問に思ったことについて調べてみる。そこから理科の学習は始まる。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 復習を大切にする。 教科書とノートに目を通し、その日学んだことが理解できたかをチェックする。重要語句（教科書の太字）を中心に新しい出てきた言葉があれば、その意味を理解する。 ② 実験の操作等で注意することや器具の使い方をチェックする。 ③ 公式や計算問題が出たときは、ワークなどで練習問題をする。 		
社会	<ul style="list-style-type: none"> ① 事前に教科書を読み疑問や深く知りたいことを把握する。 <p>地理的分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 地名、地勢に関する用語を覚える。 ② 略地図を書き、場所を覚える。 ③ 用語の意味を理解する。 ④ 地域の特色をつかむ。 <p>歴史的分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 時代の流れをつかむ。 ② 時代ごとの特色（政治のしきみ、文化の特徴）をまとめる。 ③ 用語の意味を理解する。 <p>公民的分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 用語の意味を理解する。 ② 図表で表されているものを自分で説明できるようにする。 ③ 新聞やニュースを見る。 	<p>英語</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 新出単語や本文を事前に確認して、授業に臨む。 ② デジタル教科書で本文を聞いて、どのような内容かおおまかにつかむ。 <p>音楽</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 家庭や学校で関わった音楽について、興味を持ったことや感じたことを、音楽カードに継続して記録する。 ② 学習した曲の旋律や歌詞を覚え、音楽に親しむ。 ③ 速度や強弱記号、音符の長さなどの楽典的な知識を高める。 ④ 音楽活動を楽しみながら、主体的に音楽に関わろうとする気持ちで取り組む。 <p>美術</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 風景やテレビのコマーシャルなど、普段から美しいものおもしろいデザインなどを意識して見る。 ② 用具や資料の準備は、前日では間に合わないことが多いので、2~3日前には用意しておく。 ③ アイデア・スケッチなどの時間を要する学習内容は、あらかじめ家庭で考え、円滑に作業が進むようにしておく。 ④ 標準美術やプリントを中心に制作過程を復習する。 <p>保健体育</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 保健の教科書の重要語句やその意味を確実に覚える。 ② 保健体育ノートを丁寧にまとめ、要点を理解する。 ③ 実技の本の図や解説を正確に読み取り、基本動作を知識としても理解できるようにする。 ④ 各競技のルールを理解する。 <p>技術・家庭</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 授業中に黒板にまとめられたことやプリントを使って学習したことのうち、自分なりに考えて特に大切なことを、もう一度ノートに書いて確認する。 ② 教科書などの図や写真をよく見て、その形や重要な部分の名前などをしっかり覚える。 ③ 授業中に行った作業や実習をよく思い出しながら、成功したことや失敗したことの原因をまとめたり、もう一度作業を行ってみたりする。 	数学	<ul style="list-style-type: none"> ① 教科書を読み、難しい用語がある場合、チェックし、その意味を考える。また、授業で質問できるよう準備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 復習を中心取り組む。 ノートや教科書を見ながら、授業でやった問題をもう一度やってみる。やり方が分かっていれば、参考書や問題集などの問題を解く。 ② 間違えたときは、赤ペンでチェックを入れ、なぜ間違えたか、考える。 ③ 問題数は1問でも数問でもよいので、1日10分、短時間でも頭を使う。 ④ 自主学習ノートに問題を解く。 	全教科	eライブラリを積極的に活用し、各教科で自分に合った方法で学習を継続させよう。